

次年度作付に向けて計画的に準備しましょう！

1 圃場選定

①漏生籾による異品種混入防止

前年と同一品種、または大豆・大麦等の転作あと圃場を選ぶ。

②圃場ローテーション

地力の減耗を防ぐために乾田V溝直播の連作は避ける（図1）。

2 土づくり

- ・代かきまたは耕起の前に、土壤改良資材および発酵鶏ふん等有機物を積極的に散布する（表1～3）。



LPss 乾田直播専用（N-P-K:40-0-0）には、リン酸とカリが含まれていません！

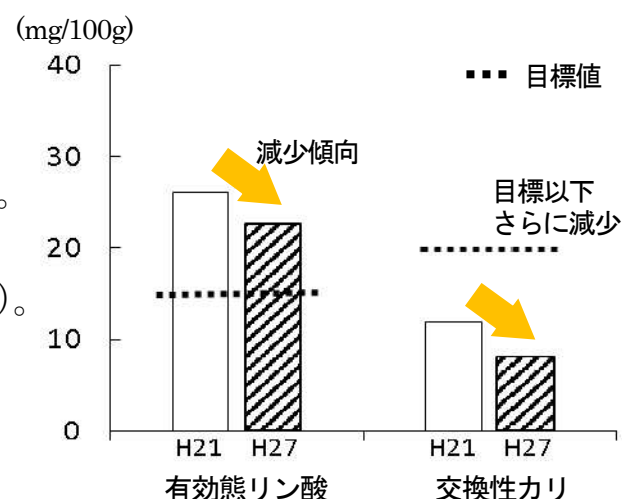


図1：「LPss 乾田直播専用」のみで6年連作した圃場の土壌分析結果

基肥のみで栽培を続けると、有効態リン酸や交換性カリが減少する。

表1：主な土壤改良資材の成分と標準施用量

資材名	標準施用量 (kg/10a)	標準量施用時の成分量(kg/10a)			
		ケイ酸	苦土	アルカリ	加里
加里入りシリカエールプラス	100	23	5	41	3

表2：中間追肥の施用の目安（10a 当たり）

肥料名	施用時期	施用量
ケイ酸加里プレミアム 34	翌年6月下旬～7月上旬	20 kg

表3：堆肥の秋施用の目安（10a 当たり）

堆肥名	施用量			
発酵鶏ふん	乾田	150kg	半湿田	100 kg

3 畦塗り

- ・湛水後の減水深を小さくするために畦塗りを丁寧に行い漏水の防止に努める。

4 耕起および代かき

- ・水稻および大豆収穫後はすぐに耕起し、作物残渣（稲わら、大豆茎莢など）の腐熟を促進する。
- ・代かきは10月～11月に行い、浅水状態で均平を心がける。

5 排水溝の設置 ～春の播種作業時に圃場が乾くように～

- ・代かき後は自然落水とし、圃場の減水が進んだら、管理機等で排水溝を設置し、水尻と確実に連結させる（図2）。
- ・排水性が悪い圃場や局所的に水が溜まりやすい場所には、溝を多く設置する。



図2：代かき後の排水溝の設置

8/20～10/20は「秋の農作業安全運動」実施中！！
9/15～11/15は「秋の土づくり運動期間」、10/1は「土の日」です。

【お問合わせは JAいみず野本店 営農指導課 TEL52-6805 富山県高岡農林振興センター農業普及課射水班 TEL26-8478 まで】
【JA いみず野ホームページ <http://www.ja-imizuno.or.jp/>】